

令和5年度第2回下田市総合教育会議 会議録

開催日時： 令和6年3月26日（火）15時40分～17時08分

場 所： 下田市立中央公民館 大会議室

出席者：

【委員】

市長	松木 正一郎	教育長	山田 貞己
教育委員	佐藤 知佐子	教育委員	西川 紀栄
教育委員	宮内 慎也		

【事務局】

学校教育課			
課長	佐々木 雅昭	参事	土屋 大祐
学校教育係長	齋藤 祐樹	こども育成係長	増田 義和
生涯学習課			
課長補佐	鈴木 美鈴	社会教育係長	中堀 啓司
企画課			
課長	鈴木 浩之	政策推進係兼 企画調整係長	金守 俊彦
主事	竹見 裕野		

傍聴者： 報道関係3名

1 開会 15:40

2 あいさつ

・市長

今年度最後の会議なので、活発な御意見をいただきたいと思う。よろしく申し上げます。

・教育長

教育委員会定例会では、いじめ等の問題、教職員の離職、採用試験の倍率の低下、部活動の地域移行、教育のデジタル化等、さまざまな話が出た。学校教育も市とタッグを組んで良い教育活動ができれば良いと思う。皆さんと知恵を出し合っていきたい。よろしく申し上げます。

3 報告事項

(1) 令和6年度学校教育の基本方針について

・事務局（学校教育課参事）より資料1に基づき説明。

【質疑、意見等】

・市長

確認だが、基本方針（案）を事務局が作成し、総合教育会議で議論したうえで策定するのか。

・学校教育課長

教育委員会定例会で承認を得たので、この場で報告するものである。昨年度は2月に総

合教育会議を開催したため、基本方針（案）について議論した。毎年度の総合教育会議において、教育方針について協議もしくは報告を行っている。

・市長

このような基本方針はTPOに合わせる事が大切である。その年度に則した教育のテーマで、昨年とこのように変わったと示せると良い。今年は、健全・安全・安心のまちづくり宣言について、御用邸のある下田市として健全な子どもを育てるといような取組を入れることで、取組5の健全な子どもの育成につなげることもできると思う。また、今年は開港170周年記念事業を1年かけて行う。今年1年をかけて港や国際、未来といった部分を輝かせるというのが今年のビジョンである。最後のクライマックスは子どもたちの未来である。教育関係の皆さんと協力し、子どもが主人公になるような大きなイベントを秋頃に考えている。具体的な内容は未定だが、理念や方向性は見えてきている。黒船祭だけで終わらせるのではなく、今年の170周年は、港のあるこの町で国際性を持ち、更に未来を見ようということにしている。このように上手く活用した基本方針にすると良い。

・教育長

170周年記念を具体的に入れ込むことは可能だと思うが、グローバルCITYプロジェクトを1つの柱として、また地域とつながるコミュニティスクールもグローバルCITYプロジェクトと密接に関わっているので、色々な考えができると思う。市の方向性と一致するものとして策定した。

・市長

「たくましく、しなやかに」とはどのような意味か。

・教育長

「力強く果敢に進み、時代の変化にも柔軟に対応できるように」という意味である。

・西堀委員

令和6年度から小学校においてもコミュニティスクールが始まる。皆さん楽しみに行っている。どんどん地域の方が参加してくれればもっと良くなると思う。

・教育長

稲梓小学校の看板を地域の方が手作りしてくれたり、竹箒を十数本作ってくれたりしている。このように自然とできているが更にコミュニティスクール広がると良い。

・学校教育課参事

学校も元気になり、地域の方もやりがいを感じてくださるよう更に展開できればと思う。

(2)能登半島地震をうけた下田保育所・下田小学校における合同避難訓練の実施について

・事務局（学校教育課こども育成係長）より資料2に基づき説明。

【質疑、意見等】

・佐藤委員

下田幼稚園だけの避難場所というのはやはり心配である。今回春日山の方にも避難したということは非常に良い取組みだったと思う。色々な時間にやってみる訓練の機会を増や

していくことが大事だと思う。これは、下田小学校との合同避難訓練を実施したということか。

・学校教育課こども育成係長

合同避難訓練を実施した。下田小学校の児童が5分程度で避難できることが分かった。

・佐藤委員

合同実施が良いものなのか分からないが、保育園は保育園なりの避難の在り方があると思うので、自分の身を守るためにはどういう避難方法が良いのか考えた訓練が大事だと思う。また、下田小学校前の道路は交通量が多いので、そこを渡るには交通事故の危険性もあるということを考える必要がある。

・教育長

春日山への避難訓練は、小学校と合同で行う必要があると思う。保育所の記録を見ると、年長さんが小学生の避難の様子を見て参考にしていたと記載があった。合同避難訓練は決してマイナスなものではない。

・学校教育課参事

道路横断については教職員も懸念しており、有事の際はサポートに入るよう対応する。

・教育長

かつては下田幼稚園と春日山の2つの避難場所に分かれていたが、1つになったことで皆が春日山に避難することになれば、教育委員会としては避難体制をとりやすくなる。保護者からは、津波を考えて山へ逃げた方が良いのではという意見が以前から出ていた。今回の避難訓練はプラスになったと思う。1月4日に臨時職員会議を開催したことは非常に良かったと感じている。

・西堀委員

授業中は先生方がいるからこれで良いと思うが、学校以外で地震が起きたらここに逃げるといような案内板はあるのか。

・企画課長

防災の担当が不在のため詳細は分からない。避難路や避難場所を指示する看板は整備されている。子ども目線のものや子どもに対する理解・配慮については、今は明確にはお答えできない。視点として必要なことだと思う。

・教育長

学校や家庭での避難をどうするかという話は当然している。地区の防災力がどれだけあるか市の課題だと思う。どういう時にどういう判断をするかが大切である。

・佐藤委員

今回の合同避難訓練によって出た課題について検討して、今後下田小学校と特別支援学校も加えるなど工夫して、1回だけではなく継続していく必要があると思う。

・市長

資料の地図を見て、3つの弱者施設（下田保育所、下田小学校、病院）が存在するとい

うことを意識してもらいたい。また、南海トラフ巨大地震の被害想定は広く、太平洋側は東京辺りから四国までに及ぶため、伊豆半島に自衛隊が来る余裕がない。どうしても被害が多い人口の多い所から支援に行くため、このような時にどうするか考えなければならない。それから、能登半島と伊豆半島では地政学的な違い等色々な違いがあるため、よりリスクな点について我々は注意しなければならない。能登は海底隆起型の地層で、伊豆半島は火山活動でできた場所であるため山が多く振動に強い。山や川の状況が異なるためリスクが全然違う。

下田においては、東日本大震災のようになるということを前提に考えなければならない。中・長期的に学校の体育館で避難生活を送ることになる。学校は防災機能を持つことを痛感したと思う。体育館で避難する高齢者の中には避難生活中に亡くなる方もいる。この体育館における避難生活の居住性を一定レベルまで高める必要があると考えている。今回の能登半島地震で居住性についての議論はほとんど出ていないが、重要なことだと再認識している。学校施設を学校施設として捉えるだけではなく、いざとなったら防災に使う観点を入れると、備蓄品も変わってくると思う。運動場については廃棄物の仮置き場になることも想定される。避難訓練の実施はとても良いことだが、プラス1、プラス2として、もう一步突っ込んで災害時における学校の機能について検証してほしい。能登半島地震の教訓として進めていただきたい。

(3) スポーツを活かしたまちづくりについて

- ・事務局（生涯学習課社会教育係長より）より資料3に基づき説明。

【質疑、意見等】

・教育長

アクアスロンをはじめ下田は海に関係する色々なスポーツがあり、スポーツツーリズムやサーフタウン構想やスポーツコミッション等、推進している。

・佐藤委員

下田中学校サーフィン部は県外から入ってくる方もいるようで、サーフィンがすごく魅力的なものだと感じている。市長が仰っていた「下田は国際みなど」と言ったときに、下田は何をスポーツの柱としてやっていくか考えていかなければいけないと思う。昨年からは、アクアスロンが始まったということで、それを皆さん周知する取組みを進めていけたら良いと思う。これがあるから下田に行ってみたいということが出てくると良い。

・教育長

先日の下田マラソンは参加者が増え好評だった。アクアスロンもそうなるとう良い。

・市長

下田ならではということで今サーフタウン構想を策定中で、サーフィンでこのまちをブランディングしていこうとしている。今度Sリーグというのができるので、下田がサーフィンのメッカになると良いと思う。

また、ポッチャについて、先日金メダリストの杉村さんに会った。ポッチャのように障害のある方も高齢者も皆が楽しめるスポーツを子どもたちの取組みに入れても良いと思う。どんどんやってもらいたい。

それから、数年前から義務教育の中に武道が加わったということで、とても良いことだと感じている。スポーツに武道を入れ込んでも良いと思う。

・生涯学習課社会教育係長

ポッチャについては、現在スポーツ推進委員を中心に、年間通じて市内で大会を開催している。中央公民館ではポッチャのスペースを設けており、日中は高齢者が来たり、放課後に小学生が来たりしている。今後、杉村さんと呼べるよう更に推進していきたい。

・企画課政策推進兼企画調整係長

昨日もちょうどサーフタウン構想の作業部会を開催し、今年度中にまとめて教育長に報告する予定である。来年度は観光協会や商工会議所等、民間の方にも入っていただき、秋頃には構想を策定していきたいと考えている。引き続き協力をお願いします。

・教育長

武道について中学校では柔道をやっている。礼儀礼節ということで取り入れている。

・市長

私にとっての武道は人と争わないということ意識したものであり、相手の痛みを分かることができたり、とても良いものだと思っている。

4 その他

・新庁舎の状況について、企画課長より資料5、資料6に基づき説明。

・下田開港170周年記念行事年間スケジュールについて、企画課長より資料7に基づき説明。

【質疑、意見等】

・西川委員

下田を盛り上げたい気持ちは皆同じだと思うので、協力できることをしていきたい。

・宮内委員

スポーツを活かしたまちづくりということで、下田の財産はやはり海だと思う。砂の造形大会をもっと広めてもらいたい。コロナの関係で中止になっているが、ぜひ下田を盛り上げるためにやれたら良い。また、防災についても教育に活かしていきたい。

・西堀委員

しずおか市町駅伝をもっと力を入れて盛り上げてほしい。

・教育長

下田には自然、歴史、文化等たくさんの財産があるが、それをどう活かしていくかだと思う。うまく流動させて何かできたらと考えている。

5 閉会 17:08